

平成23年第3回（6月）上越市議会定例会

## 文教経済常任委員会資料【所管事務調査】

### 小木直江津航路について

- ・小木直江津航路の現状・・・・・・・・・・ 1
- ・小木直江津航路に関する関係者会議の合意に基づく取組状況・・・・・・・・ 2～4
- ・平成23年の小木直江津航路の運航ダイヤ・・・・・・・・・・ 5

## 小木直江津航路の現状

### ●航路別旅客輸送実績

単位：人、（）内は前年との増減率

	小木・直江津	新潟・両津	寺泊・赤泊	全航路
平成20年	208,797 (▲24.5%)	1,549,692 ( 1.9%)	51,582 ( 14.4%)	1,810,071 (▲1.7%)
平成21年	200,625 (▲3.9%)	1,560,458 ( 0.7%)	48,417 (▲6.1%)	1,809,500 (▲0.03%)
平成22年	176,453 (▲12.0%)	1,461,320 (▲6.4%)	50,417 ( 4.1%)	1,688,190 (▲6.7%)

### ●カーフェリー1便当たりの輸送人員

( )内は年間就航便数

	小木・直江津	新潟・両津
平成20年	209人 ( 995便)	282人 (3,707便)
平成21年	225人 ( 884便)	281人 (3,698便)
平成22年	204人 ( 867便)	255人 (3,476便)
定員	こがね丸 1,010人 (こさど丸 1,000人)	おけさ丸 1,705人 おおさど丸 1,705人

※平成20年4月から「こがね丸」による1隻体制

### ●佐渡汽船(株)の連結業績

単位：百万円（百万円未満切捨）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成20年	10,737	35	▲282	▲235
平成21年	12,524	1,150	1,008	156
平成22年	12,022	698	585	446

※平成22年12月期決算短信（平成23年2月18日発表）

## 小木直江津航路に関する関係者会議の合意 (平成 20 年 1 月 22 日) に基づく取組状況

### 1. ジェットフォイルの社会実験 (新たな旅客需要の創出の可能性を探る)

平成 22 年の実施結果

- 新潟県事業「ジェットフォイルチャーター便支援事業」
- 運航計画 計 4 便 (平成 22 年 11 月 8 日から 10 日まで)、約 800 人の乗船予定
- 運航実績 クラブツーリズム企画ジェットフォイル貸切便  
秋の大収穫祭と観光地巡りをセットにした企画  
荒天のため全便欠航 (初日 1 便は新潟両津航路に振替対応)

### 2. 2 隻体制を目指した検討委員会の設置

#### (1) 設置趣旨

平成 20 年 1 月 22 日の「小木直江津航路に関する関係者会議の合意」に基づき、北陸新幹線金沢開業前に 2 隻体制の復帰を目指すため、関係者による委員会を設置し、新たな船舶による航路サービスの可能性を検討するもの。

#### (2) 検討状況

- ・ 第 1 回委員会 (平成 20 年 5 月 26 日開催)  
同一航路での複数船舶活用事例や地域振興による利用促進事例を整理するとともに、最新の船舶事情についてゲストスピーカーから報告を受け、意見交換を実施。
- ・ 第 2 回委員会 (平成 20 年 11 月 27 日開催)  
地域連携による広域観光の形成についての報告を受けるとともに、北陸新幹線開業後の北陸観光と佐渡観光の広域観光プランを整理し、意見交換を実施。
- ・ 第 3 回委員会 (平成 21 年 3 月 17 日開催)  
広域観光プランと航路コンセプトについて整理するとともに、北陸新幹線開業後の広域観光についてゲストスピーカーから報告を受け、意見交換を実施。
- ・ 第 4 回委員会 (平成 21 年 6 月 18 日開催)  
船舶調達に関する国の支援スキームの説明を受けるとともに、広域観光プランの社会実験 (モニターツアー及び web アンケート) 実施に関する意見交換を実施。
- ・ 第 5 回委員会 (平成 21 年 12 月 14 日開催)  
広域観光プランの社会実験の結果報告及び国内に就航している旅客船についての報告を受け、意見交換を実施。
- ・ 第 6 回委員会 (平成 22 年 3 月 25 日開催)  
今後の航路の在り方を考える上で、他航路並びに北陸新幹線及び空路など、佐渡への交通アクセスを総合的に捉える必要があることから、それぞれの動向を見極めながら次回委員会を開催することとした。

#### (3) 今後の予定

現時点での次回委員会開催は未定だが、引き続き佐渡汽船(株)及び関係者が連携して旅客需要の維持・確保に努めている。

### 3. 佐渡市による冬季間の両津港までの直行バスの運行

- 佐渡市が、バス会社へ補助を行い、小木直江津航路運休期間中に小木ー両津間の直行バスを運行。通常、小木ー両津間は1日1往復であるが、冬季間は早朝に1往復追加するもの。
- 平成20年度実績
  - ・平成20年11月25日から平成21年2月28日まで運行（12月27日から1月5日までは運休）
  - ・小木発 3:55 ⇒ 両津埠頭着 5:10 … 5:30 両津発フェリーに接続  
利用実績52人（11月0人、12月20人、1月16人、2月16人）
  - ・両津埠頭発 9:10 ⇒ 小木着 10:37 … 8:30 両津着フェリー、9:00 両津着ジェットfoilと接続  
利用実績70人（11月0人、12月26人、1月20人、2月24人）
- 平成21年度実績
  - ・前年度の利用実績を勘案し運行休止。
- 平成22年度取組状況
  - ・前年度同様に運行休止。

### 4. 佐渡汽船による冬季運休に伴う貨物輸送運賃の割引

- コンテナ貨物並びにトラック貨物について、小木直江津航路で冬季間、過去に取扱実績がある顧客に対し、小木直江津航路運休期間中の新潟両津航路の運賃を割引くもの。
- 運賃割引は冬季運休期間中のみとし、平成22年度までの3年間限定。
- 平成22年度実績（平成22年11月24日から平成23年2月28日まで）は下記のとおり。  
（ ）内は前年との増減

	件数	重量	主な品目
小木 → 新潟	79件 (+16件)	11,728 kg (▲2,946 kg)	干し大根 くず鉄 返送空容器など
新潟 → 小木	235件 (▲24件)	131,725 kg (+13,996 kg)	食品類 冷凍食品など

### 5. 佐渡汽船は新潟両津航路について更なるサービス向上に努める

- 新潟港と両津港に時刻案内、運航状況、観光情報提供用の電光掲示板を導入。
- 新潟港と両津港に多機能型自動券売機を導入。現在、領収書発行、クレジットカード対応、手荷物券発行、音声ガイド機能が稼働中。今後、ジェットfoil指定席券発行機能を追加予定。
- 「トキめき佐渡・にいがたフリーパス券（新潟駅から新潟港ターミナルまでの路線バス往復と、新潟両津航路往復、島内路線バスをセットにした商品。4,800円で3日間有効）を販売。
- 土日祝日出発限定の乗用車航送運賃割引、ジェットfoil運賃割引を実施。

## 6. 関係自治体は、平成 19 年実績を上回る誘客に取り組む

○平成 22 年においても、より実効性の高い取組を実施し誘客目標達成のため引き続き関係者と連携・協力をしながら誘客に努めた。

○関係自治体の誘客内容

項目	目標・実績人数	説明
H21 輸送実績	200,625 人	
H 22	輸送目標	210,000 人 対前年比 4.5%以上増
	輸送実績	176,453 人 H21 輸送実績比 ▲24,172 人、▲12.0% H22 輸送目標比 ▲33,547 人、▲16.0% (未達成)
	関係者輸送目標	69,000 人 H21 と同じ目標設定
	関係者輸送実績	97,919 人 輸送目標比 +28,919 人、+41.9% (達成) 詳細は下表のとおり

	主な取組内容	目標	輸送実績	目標差
新潟県	ツアー造成支援	26,000 人	36,390 人	10,390 人
	乗用車航送運賃割引支援			
	誘客キャンペーン支援			
佐渡市	ツアー造成支援	28,000 人	42,971 人	14,971 人
	ツアー造成支援 (島内バス枠)			
	乗用車航送運賃割引支援			
上越市	ツアー造成支援	15,000 人	18,558 人	3,558 人
	上越市・佐渡市連携事業			
	市内児童・生徒の半額補助			
	乗用車航送運賃割引支援			
	市民団体交流事業			
	合計	69,000 人	97,919 人	28,919 人

○今後の市の取組方針

- ・関係自治体による誘客目標は達成したものの、全体の減少傾向に歯止めがかからないことを踏まえ、引き続き誘客目標を 15,000 人以上とし、関係者と連携・協力しながら利用促進に努める。
- ・具体的には、航路利用全体に占める団体客の割合が高いことを踏まえた団体対策（バス航送運賃割引支援）のほか、個人利用に対する対策（乗用車航送運賃割引支援の拡充など）による新規需要の開拓を図る。

## 平成23年の小木直江津航路の運航ダイヤ

- 1 平成22年と同じくエージェント、一般利用者に定着してきている奇数日・偶数日別ダイヤを採用する。
- 2 運航時刻についても、奇数日・偶数日の1日おきではあるが、各方面から利用できるダイヤとした。  
(奇数日 13:40直江津発 ~ 奇数日 10:20小木発 ... 2泊3日圏)  
(偶数日 9:30直江津発 ~ 奇数日 17:00小木発 ... 1泊2日圏)
- 3 1泊2日圏(長野・北陸・県内)誘客促進のため、最盛期などの奇数日においては、直江津発7:00を41便設定した。これに伴い、最盛期などの偶数日においては、小木発19:35を36便設定した。(平成23年7月~9月時刻表・運賃表より)